

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月18日

【評価実施概要】

事業所番号	3870501230		
法人名	医療法人社団久和会		
事業所名	グループホーム桜		
所在地	新居浜市船木甲3656番地8 (電話) 0897-41-2882		
管理者	木村 信夫		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年9月18日	評価確定日	平成20年11月18日

【情報提供票より】 (平成20年9月5日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年7月26日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	14人, 非常勤 2人, 常勤換算 13.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	42,560円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 950円		
(3)利用者の概要 (平成20年9月5日現在)			
利用者人数	18名	男性 4名	女性 14名
要介護1	0名	要介護2	8名
要介護3	8名	要介護4	1名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 86歳	最低 67歳	最高 96歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は、法人内で行われる接遇研修を受け、利用者への言葉かけや対応について学んでおられる。職員は、日頃より「してあげるでなく、させていただくという気持ち」で取り組んでいると話しておられた。
 事業所の盆踊りや運動会に参加されたり、趣味の俳句・墨絵・折り紙を楽しまれる方もおられる。
 お弁当を持って、市内公園にお花見に行かれたり、玄関前で日向ぼっこされたり、日常的に中庭を散歩されている。
 居室には、ご自分で作った折り紙の作品を飾っておられる方や、ご家族から贈られた花鉢を大切に世話されている方がうかがえた。居室の入り口に、折り紙で作られた珍珠玉をつり下げられている方もあった。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、評価後の書類を目に付くところに置く等、ケアの振り返りに活用されている。この一年、事業所に子どもたちが来てくれるような取り組みをすすめられた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・自己評価は、各ユニットのリーダーが、日々のケアの様子や職員の意見等を聞き取り作成され、その後、管理者が全体をまとめられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議開催時間は、出席者の都合等も踏まえて夕方からの開催となっている。会議では、事業所の活動報告をされたり、職員研修の報告等をされている。自治会長の方は退任後も会議に参加いただき、ご意見等をいただけるよう働きかけておられる。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・月に1回は、必ずご家族の来訪があり、担当の職員が日々の様子や身体状況について細かく報告されている。病院の定期受診後には電話で報告されており、行事の案内や運営推進会議の参加の呼びかけ等も、その都度行っておられる。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・地元の夏祭りに、職員・利用者が参加され、楽しまれた。秋祭りには、地元のみこし等が事業所に来てくれるようになっている。ご家族が事業所で紙芝居をしてくださる時に、地域の方も招待されている。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム桜

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)

氏名 木村 信夫

評価完了日 平成 20年 8月 28日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域の方との交流、特に地域での催しへの参加、及び施設行事へのご招待等を通じ、外部との接触を持ち、これまでのご自分を取り戻せるように、誠心誠意支援して参ります。		
			(外部評価)		
			事業所では「以前のご自身を取り戻し、維持できるように支援する」ことを理念に揚げ、地域や外部の方との交流を大切に、行き来できるような関係を目指しておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			理念は、よく見える場所に掲示しており、全職員、理念を述べることができ、その理念の追求を目指している。		
			(外部評価)		
			毎月の部署会時には、各ユニットのリーダーを中心に、理念に沿って日々を振り返るようにされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			ご家族の面会時や運営推進会議等において、ご家族、地元自治会や民生委員の方々にお話し、ご理解を得られるよう努力しています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		<p>隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホームの夏祭りや秋の地方祭の時など、地域の住民の方々の参加が増えてきています。挨拶をしたり、子供づれの方には遊びに来ていただけるよう声掛けています。</p>		
5	3	<p>地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域の行事への参加や、施設の行事へのご招待などを通じて、年々交流の輪が広がっているところです。</p> <p>(外部評価)</p> <p>地元の夏祭りに、職員・利用者が参加され、楽しまれた。秋祭りには、地元のみこし等が事業所に来てくれるようになっている。ご家族が事業所で紙芝居をしてくださる時に、地域の方も招待されている。</p>		<p>管理者は、さらに、毎月行われるお茶会に地域の方を招き、行き来できる関係作りのきっかけにしたいと考えておられた。</p>
6		<p>事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<p>評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎年、いただいた外部評価を会議において話し合い、改善するように努めています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>自己評価は、各ユニットのリーダーが、日々のケアの様子や職員の意見等を聞き取り作成され、その後、管理者が全体をまとめられた。前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、評価後の書類を目に付くところに置く等、ケアの振り返りに活用されている。この一年、事業所に子どもたちが来てくれるような取り組みをすすめられた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			ご家族、民生委員の方、市の担当者、ボランティア、経営者等の参加により、毎回有意義な意見交換ができています。ご家族からのご意見に、経営者から早急な返事・対応をさせていただいたりし、ホームの運営に役立てています。(ご家族から、入居の紹介をいただけるようになった。)		
			(外部評価)		
			会議開催時間は、出席者の都合等も踏まえて夕方からの開催となっている。会議では、事業所の活動報告をされたり、職員研修の報告等をされている。自治会長の方は退任後も会議に参加いただき、ご意見等をいただけるよう働きかけておられる。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			当該会議だけでなく、普段より質問事項等、市の担当者にお電話したり、お伺いしたりしています。市の担当者の方も丁寧に対応してくださっています。		本年度より介護相談員の導入について市より提案があり、ホームとしても受け入れ態勢をとり、ホームの質の向上を図っていく。
			(外部評価)		
			市の担当者より「事業所の活発な行事等の活動や事業所の雰囲気について感心した」との感想をいただいた。年4回発行している事業所だよりや、運営推進会議の議事録を市担当の方に見ていただいている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			制度は職員に説明し理解しています。しかし、現在のところ入居者の皆さんにはご家族が居られ、本制度の必要性がないようです。しかし、家族の高齢化により、今後は本制度を利用したい方が出てくると思いますので、更に習熟を徹底します。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			併設施設の介護老人保健施設と共同で、勉強会を行っています。全職員、相互チェックの意識を持っており、当ホームでは今まで該当ありません。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な時間をとり、話し合いや書類の説明、契約書の作成を行っています。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 窓口となる職員を決め、それを掲示しています。幸いなことに、ご家族からは気づいたこと、お考えについて、忌憚のないご意見をいただいています。家族交流会を兼ねた、「いも炊き会」の雰囲気を見ていただければお分かりいただけると思います。今年もご家族から要望がありました。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) これらの点について、面会時や電話による報告等、細かく報告出来ています。職員の異動は、あまりないのですが、発生した場合には順次、面会時等に異動職員を紹介するようにし、アットホームな雰囲気が損なわれないように注意しています。		
			(外部評価) 月に1回は、必ずご家族の来訪があり、担当の職員が日々の様子や身体状況について細かく報告されている。病院の定期受診後には電話で報告されており、行事の案内や運営推進会議の参加の呼びかけ等も、その都度行っておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 普段から面会時など、ご家族とのコミュニケーションをとり、ご意見等いただいています。また、運営推進会議において、気が付いた点をお聞きし、その内容はホーム内で閲覧可能となっており、それをもとに、早急な対応をしています。		
			(外部評価) 年一回、事業所で芋煮会を開催し、利用者・ご家族・職員で交流を深めておられる。ご家族同士の交流の場にもなっている。		事業所では今後、家族会時にご家族からご意見をいただけるような取り組みも、進めていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎日の申し送り時や職員会議などで出された議題の中から、職制を通じて提案を受け、運営者よりその回答を得ています。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) いつでもとはいきませんが、開設以来、必要な場合には、勤務シフトの交代や時間外勤務を取り入れるなどし、現状で可能な方法で対応しています。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 幸い当ホームでは職員の異動は少なく、発生した場合には入居者の皆様に影響がないよう、職員全員でフォローしつつ対応しています。		
			(外部評価) 管理者や各ユニットのリーダーの方が、職員それぞれの悩みを聞き取るようにされており、職員のチームワークもよく、この一年間、離職はなかった。		
5.人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) グループホーム連絡協議会や併設施設と合同の勉強会、外部の講演等に参加し、レベルアップするように努めています。		
			(外部評価) 毎月、法人全体で研修会が行われており、全職員が参加され、最近では、感染症・食中毒についても勉強された。又、事業所内では、ケアについて勉強する機会を作っておられる。		外部研修への参加等、さらなる職員個々のスキルアップから、事業所のさらなるケアの質の向上を目指していかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			(外部評価)	管理者同士は、普段近隣のホーム同士で情報交換等する機会がある。また、職員全体としては各種研修会等で面識が出来、以前よりは情報交換の機会が来ている。	
			地域の他事業所と相談や意見交換がされている。他事業所からホーム便りが届いており、行事を行う際の参考にされることもある。		管理者は、毎月行っておられるお茶会に、他事業所の方達も招きたいと考えておられる。今後もさらにネットワークを広げ、貴事業所のケアの質向上につなげていかれてほしい。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			(外部評価)	日々の連絡の中で、悩み等管理者に報告・相談が来る流れが出来ており、ストレスになるような問題点があれば、管理者から運営者に相談し、解決するように取り組んでいます。また、職員厚生旅行や忘年会などの企画も実施しています。	
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			(外部評価)	運営者は、ご家族を交えての大きな催し、呈茶に参加し、運営推進会議にも必ず出席しています。項目の内容は細かく把握しており、努力に対する評価をしています。向上心を育てるためには、職員間の協力意識や相互によい点を褒めあえる心の通った人間関係が重要と理解し、促進できるように努めています。	
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			(外部評価)	最初は、ご家族から相談等のお話があることがほとんどですが、別途に機会を作っただき、ご本人と一緒に起こしただいて、あらためてお話を聴くようにしています。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) この点は、お電話や来られた際など、比較のお聴きする機会が多く、さまざまなお話を伺っています。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談に来られ、即入居申し込みという捉え方でなく、状況をよくお伺いし、よい解決策はないかという視点でご家族と話し合っています。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居を希望される場合など、ホームに見学に来ていただいたり、入居者の方とお話をさせていただいたり、雰囲気をご理解いただけるように努めています。また、ご利用当初はご家族にご協力いただき、頻繁なご面会をいただいています。		
			(外部評価) 入居前にご本人やご家族に事業所を見学していただいたり、職員が自宅に訪問し、馴染みの関係を作れるよう努めておられる。入居間もない頃は、ご家族と電話で話す等、ご家族に協力いただくこともある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の皆様には、料理や歌、昔のことなど、ご存知のことを教えていただいたりしています。一緒に歌を唄ったり、聴いたり、職員が間違ったら教えて下さったり笑い合ったりと、項目にあるような人間関係が出来ていると思います。		
			(外部評価) 縫い物の得意な方にゴム通しやすそ縫いをしていただくこともある。職員は、利用者から「ありがとう」「感謝します」と声をかけていただくこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族には、さまざまなご連絡や行事ごと、ご面会などを通じて、良い関係が築けています。行事への参加や、参加だけではなくお手伝いいただいたりもしており、アットホームな関係が出来ていると思います。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 一年を通し、さまざまな行事への参加のご案内をしています。新聞の発行や物品の依頼によっても、面会を促進していると思います。ご本人とご家族が、いつでも近くにいるという感覚でいられるよう努めています。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) お墓参りや、昔から通っている散髪屋・美容院の利用など、ご家族のご協力のもと実施出来ています。ご近所の方、知人・友人の面会等、頻繁にとまではいきませんが来られており、またのお越しをお願いしたり、ご家族を通じてこれらの方のご面会を依頼しています。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者が「孤立」することがないように、全職員、常々認識しています。利用者同士の人間関係を把握し、トラブルの未然の防止、発生時の早期対応を心がけ、穏やかな雰囲気は崩れないよう努めています。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退居後に併設施設の通所リハビリをご利用いただいたり、入院された場合には、入居者と職員でお見舞いに伺ったりし、関係が途切れないようお付き合いさせていただいています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			ご入居に際し、ご本人やご家族よりいろいろとお話を伺い、楽しまれてきた趣味やご興味のあること、これまでの暮らしやこれからの暮らし方に対するご希望など、いただいた情報をもとに支援しています。		
			(外部評価)		
			日々の利用者とのかかわりの中で、ご本人の思いや意向を汲み取ったり、ご家族の訪問時に事業所での暮らし方の希望等を聞き取り、記録されている。		管理者は、さらに「誰が見てもわかる記録」作成に向けて改善し、アセスメントの充実を図りたいと考えておられる。利用者一人ひとりの思いを探り、個々のケアの充実に取り組みしてほしい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			ご入居に際し、ご本人やご家族、これまでの担当ケアマネージャーなど関係者より情報をいただき、経過等の把握に努めています。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			職員は常にご利用者の近くにおり、心身の状態や一日の活動内容などを見守っています。その日によって、あるいは一日の中でも様子が違うこともあり、バイタルの測定など現状を把握しながら、状況を判断し対応しています。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ご本人、ご家族、これまでの担当ケアマネージャーなど、関係者からのご意見が重要な資料となっています。十分な話し合いにてご意見をいただき、介護計画を作成しています。		
			(外部評価)		
			介護計画の達成状況を毎日記録されている。それらを参考に、ご家族の意見を踏まえ、職員で話し合い、介護計画を作成されている。趣味の活動を計画に採り入れておられるケースもあった。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画の期間に応じてカンファレンスをし、介護計画の見直し、追加等行っています。また、病気や身体状況の急変等により、見直し追加する場合があります。		
			(外部評価)		
			3ヶ月ごとに計画を見直しておられる。又、退院等、状態変化時にも随時見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			ご利用者ごとに個別にカルテを作成しており、必要事項を記入しています。日々の様子についても出来るだけ記録に残し、ご家族にお伝えする際の材料としています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			ホーム自体、ご要望をお伺いしながら柔軟な対応をしていますが、一番の特徴は、併設老健施設との連携によるさまざまな支援です。特に、受診時・緊急時の対応、外部ボランティアさんとの交流・協力体制は該当していると思います。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者の希望に応じて、買い物や歯科・眼科の受診に付き添っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議などを通じ、地域の民生委員さんやボランティアさんは、より身近な存在となっています。地域の幼稚園、小学校、中学校などとの交流もあり、皆さんの精神的部分への支援となっています。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 今までのところ、このような状況はございません。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 今年から、介護相談員の受入を実施することになり、表記のようなことも発生してくると思います。		介護者の高齢化も避けられない事実であり、今後そういった面からも相談があるのではないかと思います。その際には、的確な支援と関係機関への橋渡しが出来るよう、全員理解を深めたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ご希望のかかりつけ医がある場合、ご家族の協力をいただきながら、そちらを優先し受診しています。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症専門医の受診をご希望される場合もあり、その都度、協力病院などから紹介いただき、受診いただいています。受診に関する情報の提供については、直接またはご家族を通していただいています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 職員の中に准看護師があり、また、協力病院への受診時や医療連携先の医師による訪問があるなど、専門的なことを教わったり相談できる機会は多くあります。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 医療法人のグループホームであり、入院時に早期退院ができそうな場合、ご家族ご希望のもと居室の確保を行なっています。入院中は何度も病院を訪問し、情報を得るべく連携しています。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 方針を決め新居浜市へも提出しています。入居説明の際には、この点についても十分説明し、このような状況が予測される場合には主治医よりご家族に説明いただいています。職員についてもこの点は認識できています。 (外部評価) 入居時、ご家族には、事業所の方針を説明されている。		事業所では、今後、重度化や終末期の支援等、ご本人やご家族の希望に沿った支援ができるよう、職員の研修を重ねていきたいと考えておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 体制としては、終末期支援を徹底していますが、現在まで、ご家族はまず入院治療を望まれています。「まず治療」というご家族の意見が強いため、それを尊重しており、落ち着いてからホームに帰るということを望まれています。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) こちらにある介護情報等については、ご家族ご本人の同意を頂いた上で、ご希望時に提供しています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) プライバシー保護については重要なことと、十分認識して対応を心掛けています。職員採用時には全員このことに関する誓約書を取っています。</p> <p>(外部評価) 職員は、法人内で行われる接遇研修を受け、利用者への言葉かけや対応について学んでおられる。職員は、日頃より「してあげるでなく、させていただくという気持ち」で取り組んでいると話しておられた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 「どうしますか？」など、ご本人に声掛け確認しながら、決定していただけるよう、職員全員で心掛けています。解りにくい方の場合も、気長に声掛けしたり、ご家族のお話を参考にしています。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 一日の流れは一応ありますが、皆さん思い思いの過ごし方をされています。皆さんのペースに合わせて職員も応援しています。</p> <p>(外部評価) 調査訪問時、食後に居室で休まれる方や居間のソファで新聞を読まれたり、テレビを見ておられる方がうかがえた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ご家族のご協力もいただきながら、この件には問題なく対応しています。お化粧品や髪型、服装などについて「綺麗ですね、格好いいですね。」と声掛けすると、豊かな表情をされます。いつまでも、美に対する意識はしっかりとたれていますので、大切にしたいです。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 以前にも増して、皆さんの多種多様なお手伝いがあり、楽しい準備片付け風景があります。しかし、食事中はさすがに静かな落ち着いた雰囲気です。 (外部評価) おかず等は、法人から出来上がったものが届くようになっており、ご飯や汁物を事業所で利用者とともに作っておられる。職員は、それぞれにお弁当等を持参され、利用者と楽しくお話されながら、食事をされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 現在の所、お酒やたばこを要求されることはありません。おやつや飲み物は、買い物で購入したり、ご家族からの場合もあり、体調に影響しない範囲で楽しめています。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) おむつの使用を減らすことは、重要な課題と認識しています。定期的なトイレ誘導や声掛けで、気持ちの良い排泄を支援し、ご本人の意思ではない失敗を無くせるように努めます。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴時間帯は皆さん現在では習慣になっており、ほとんど混乱されることなく、楽しい温泉タイムとなっています。しかし、時々気分により入浴拒否もあり、時間をずらして状況に応じて入浴できるようにしています。 (外部評価) 併設施設の大浴場を利用されたり、職員とおしゃべりしながら入浴される方もいる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 皆さんご自分のペースを持っておられ、好きな時に居室で一休みされたりしています。職員も、それをそっと見守りしたり、就寝前をゆったりと過ごせるよう支援したりしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 料理が得意だった方に食材を切っていただいたり、家事を進んでされる方がおられたり、歌が好きな方同士皆さんで歌を唄ったりと、皆さんの趣味、楽しみが活かせるように、ご家族にもご理解ご協力いただき支援しています。 (外部評価) 事業所の盆踊りや運動会に参加されたり、趣味の俳句・墨絵・折り紙を楽しまれる方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 小額のお金以外は、こまごまとしたトラブルもあり、ご家族のご希望・ご理解をいただいた上で、基本的に職員側で金銭管理を行っています。必要時にご本人にお渡ししていますので、特に問題は起こっていません。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			ADLの低下もあり、買い物に出かけたいなどのご希望が減少しています。受診時に、ついでに寄ったり、敷地内を散歩したり、散歩途中で休憩し外で過ごしたり、地域の催しの見学など、これからも継続したいと思います。		
			(外部評価)		
			お弁当を持って、市内公園にお花見に行かれたり、玄関前で日向ぼっこされたり、日常的に中庭を散歩されている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			各入居者のご希望通りには対応できておらず、ご家族への協力を依頼しています。皆様のご希望で以前とは違う場所へ花の見物に出かけたりと努力はしています。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			皆様のご希望に沿うよう、支援や対応をしています。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			皆様には気軽にお立ち寄りいただいています。今後とも、ますますオープンな雰囲気を目指したいと思います。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は全くありません。幸いにも、身体拘束と言う話題が普段から持ち上がらないくらい、拘束のない介護をさせていただくのが当たり前になっています。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) できる限り鍵を掛けないようにしています。ただ、帰宅願望がとて強い夜間などは、危険防止のためまた、不審者対策で鍵を掛けています。 (外部評価) 日中、鍵はかけていない。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ご本人のプライバシーを尊重しながら、声掛けや見守りを行い。さりげない対応を心掛けています。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) お一人おひとりの状況に合わせて、ご家族にもご説明しながら対応しています。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員会議での話し合いや併設施設との勉強会をし、マニュアル等も備え緊急時の認識をしています。万が一の事故発生時の為に併設施設と連携した夜間緊急搬送体制(24時間)を備えています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的にはないが、連携先病院の医師より、マニュアル等をいただいたり、ホームに来られた時に指導をいただいている。また、併設施設との合同勉強会の際に、医師や看護師より教えていただくことがあります。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 火災等の避難訓練は定期的実施している。地元自治会の会長さんが大変熱心で、今後はこの施設が避難場所になる可能性もあり、相互の協力と連携を強めたいと思います。 (外部評価) 年二回、消防署の協力のもと利用者・職員が参加して、避難訓練を行っておられる。自主訓練で放水練習も行われた。スプリンクラーを取り付ける予定となっていた。		管理者は、地域の方とともに避難訓練を行い、協力体制を作っていきたいと考えておられた。いざという時に駆けつけてくださる協力者を増やしていけるような取り組みが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 起こり得るリスクについて、ご家族に随時お話し、それが起こらないように全職員が努力することを十分お話ししています。その上で、皆さんの行動を抑制することがないように見守りしています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 開設当初より、この点については指導を受け、それぞれの体調変化に敏感に対応できています。緊急時には併設施設からの応援を得るなどし、協力病院との連携で24時間の対応ができています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) お薬の説明書を保管しており、理解できない部分は病院へ直接問い合わせたり、ご家族を通じて確認するなどしています。服用後の変化については必ず記録し、主治医やご家族に情報を提供しています。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 運動不足からくる便秘の方には、歩行運動や敷地内の散歩をしていたり、レクにお誘いしたりしています。また、便秘に良い副食を食べられるよう、食事中お勧めするなどしています。協力病院の医師からは原因や改善方法等指示をもらっています。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後は必ず声掛けや見守り、誘導等により口腔ケアしていただいております。出来ない部分を支援しています。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事や水分の摂取量等、全員個別に記録しており、医療連携先への報告や相談をし、ご家族へもお知らせするなどしています。 (外部評価) 食事時には、お茶のお代わりをすすめておられた。居室には、急須にお茶を入れて置かれている方もうかがえた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 職員に施設経験者があり、当該施設での感染予防に関するマニュアルを導入しています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 食中毒予防に関しては、併設施設の医師や管理栄養士から細かな指導と助言をいただき、また、いつでも相談に乗っていただいています。さらに、その施設の医師による講義にも参加し、知識を高めています。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 大きく開放感のある玄関の設計になっており、周囲には芝生が貼ってあります。外からも中からも見やすく、芝生に座っていただいているようにレイアウトされています。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 共用空間の各所とも、安全、快適であるよう設計、建築されており、使用感や使い勝手とも問題ないと思われます。皆さんの作品を飾ったり、花を添えたり、庭の植木や草花を楽しまれたりしています。</p> <p>(外部評価) 利用者・職員で作ったちぎり絵を居間に飾り、利用者が描いた塗り絵が廊下に飾られていた。食後にはソファ等でくつろいでおられる方がうかがえた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) ソファやテーブルなどで空間がある程度分けられており、テレビを見られる方、お話をされる方、趣味に集中される方など、自由に過ごされています。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			使い慣れたもの、今まで使っていたものを置いていただけよう説明しています。置かれたものによって、それぞれが特徴のあるお部屋になっています。		
			(外部評価)		
			居室には、ご自分で作った折り紙の作品を飾っておられる方や、ご家族から贈られた花鉢を大切に世話されている方がうかがえた。居室の入り口に、折り紙で作られた玖珠玉をつり下げておられる方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			各居室に換気扇、空調設備を備えており、個別に状況に応じて機器の調節や換気をしています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下や皆様が集まるホールの周囲、トイレや浴室内など各所に手摺があり、移動や必要時にご利用いただいています。また、段差のない設計や居室などのドアがスライド式など、安全にご利用いただけるようにしています。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			「なるべくご自分で出来ることはしていただく」という職員共通の理解の上に、無理や混乱が生じないように、状況に合わせて支援しています。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			敷地が広く、建物周囲には芝生や桜があり、緑豊かな環境です。利用者の皆様には散歩や草引き、日光浴やレクなどを楽しんでいただいています。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	入居説明時や面会時にご本人、ご家族のご希望をお聞きしています。完全ではないかもしれませんが、皆様に公平かつ根気よくお尋ねしています。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	毎日、一緒に過ごす時間を必ず作っており、大変大切な時間だと思います。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	強制することなく、声掛けはしますが、ご自分のしたいことをご自身のペースで楽しんでおられます。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は、全力で支援していますが、自己満足にならないように、皆さんのごい検討もよく聴きさらなる前進をしたい。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	すべてのご希望には添えていないのが現状。ご家族との人間関係を元に、ご協力をいただいています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	各主治医からの指示を徹底し、毎日のバイタルチェックや日々の体調変化を的確に報告しています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	強制することなく、皆さんの自己のペースでご自分のしたい事をされています。それを、職員が見守りを行っています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	ご家族は、どうして欲しいか、思っていることを率直にお話しいただいていると思っています。そのお気持ちに伝えることが重要であり、信頼関係の基礎だと認識し、毎日対応しています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	「たまに」という表現しかないので、依然と比べるとはるかに訪問される方が多くなりました。去年の秋祭りから、地域の神社から神輿が入るようになったり、家族の知人によるボランティアが実現するようになってきました。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	確実に年数を経過するごとに理解者、応援者が増えています。しかし、広く皆さんにその理解が広まるにはまだまだ時間がかかるように思います。この会議を有効に生かして取り組んでいきます。
98 職員は、生き活きと働けている	(自己評価) ① ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調の悪い職員が出たときなど、本当に全員の協力・助け合い体制があり乗り越えてきました。チーム意識、みんなの和があればこそと思っています。ご家族のアンケートが大変気になるところです。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出来ることは全力でさせていただいていますが、「すべてのご利用者が・・・」と言うことになると、何がしかご不満もあるのではないかと思います。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ① ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ご家族との会話による限りは、ほぼ皆さんのご満足をいただいていると思っています。これを継続させる為に、普段から信頼関係を築き、気の付いたことを率直にお聞かせいただくことが重要だと認識しています。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

医療法人が設立母体ということで、健康管理の面でのバックアップは24時間体制です。また、医療連携先の医療機関から医師が直接来て入居者に接し、状態を把握していただくなど医療面での充実が特徴です。ホームとしては、個人のプライバシーと尊厳に配慮した介護を行い、少しでも以前のご自身を取り戻していただけるよう意識して介護させていただいています。介護老人保健施設に併設した、緑多い環境下に位置しており、是非見学にお越し下さい。